

碁老連 ニュース

*38号

碁老連の目的

ボケ防止のために、老人団体同好者の誰もが
碁老連に参加しあることが出来よう。機会と場所
を確保するために相談カシ、囲碁を通じて親睦
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢
献することを目的とする。

発行日 平成5年3月8日
発行所 八王子の碁老連
〒193 八王子市初沢町1434-46
TEL (0426) 66-3754
发行人 熊崎正一

*3回ボケ防止のための講習会

開催日時

平成5年2月28日 午前9時

開催会場

元八王子市民センター（工農分科会749-1、電51-3960）

主 催

元八王子寿闇碁老連会（会長高橋 葦）

共 催

八王子の碁老連（碁老連）

後 援

八王子市、八王子教養会員会、日本棋院、読売新聞八王子支局、

参 加 様

元八王子事務所と恩方事務所の管内及び美山町に在住している60才以

上で10歳以上の囲碁愛好者

600人（担当、パック茶を含む）

競技方法

例年通り5クラス別に行い、各クラス第3位までの入賞者に賞状を授与する。

特 殊

成績に上り下記大会に推薦する。

(1)、7月4日開催の八王子大会

(2)、9月開催のNTT教養囲碁大会

競技成績

次の通り

Bクラス（2歳・3歳）成績表

予選

		優勝		次回戦				勝敗			
		片岡	正輝	山	原	中	島	西	水	西	山
1	2	2	1	3	1	2	1	3	2	0	2
0	0	X	X	0	0	0	X		X	0	X
山	平	高	長	孫	股	中	戸	清	浦	西	片
田	平	高	長	孫	股	中	戸	浦	水	片	片
田	橋	島	原	山村	果	果	果	西	片	片	片
X	0	0	0	0	X	X	④	④	0	X	X
島	岡	中	股	片	長	孫	不	不	西	平	清
馬	村	山	國	島	原	山村	果	浦	水	浦	水
X	X	0	X	0	X	0	X	0	0	X	0
孫	孫	長	浦	平	西	高	山	浦	浦	片	片
水	水	水	水	西	片	高	山	浦	浦	片	片
原	(一)	島	(一)	田	山	橋	田	浦	浦	片	片
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
廣	長	清	浦	片	西	山	高	孫	浦	片	片
島	水	浦	浦	片	山	山	高	孫	浦	片	片
嘉	一	光	美	孝	重	重	幸	久	正	健	名
春	勇	伸	佐	二	明	二	勝	十	一	雄	加
22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

(1).

Aクラス(4歳以上)成績表												平選		
優勝		次勝		第3位		第4位		第5位		第6位		優勝		
橋場		橋原		大在		近岡		山浦		井上		大木		
2	1	2	1	2	2	0	3	1	0	勝敗	2	1	2	
④	X	X	X	0	0	X	0	0	X	勝敗	三回戦	優勝	大木	
不	高	岡	大	延	所	前	稻	山	村	勝敗	二回戦	優勝	大木	
橋	橋	村	橋	橋	村	橋	村	山	村	勝敗	二回戦	優勝	大木	
X	0	0	0	X	0	X	0	X	X	勝敗	二回戦	優勝	大木	
橋	大	在	近	岡	不	山	浦	河	村	勝敗	二回戦	優勝	大木	
橋	橋	原	橋	橋	原	橋	橋	山	浦	勝敗	二回戦	優勝	大木	
0	X	②	X	0	X	X	0	X	X	勝敗	二回戦	優勝	大木	
河	河	在	橋	橋	原	山	浦	近	大	勝敗	二回戦	優勝	大木	
井	井	原	河	河	原	井	浦	千	平	橋	勝敗	二回戦	優勝	大木
10	9	△	7	6	5	4	3	2	1	No.	参 加	森	大木	
在	原	原	在	原	原	山	浦	近	岡	大	氏	森	大木	
原	原	原	原	原	原	高	橋	岡	大	氏	参 加	森	大木	
正	正	利	正	和	和	和	和	吉	貞	名	者	森	大木	
紹	紹	利	紹	紹	利	紹	紹	吉	貞	名	者	森	大木	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	者	森	大木	
父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	者	森	大木	

Cクラス(初段・準初段)成績表												平選	
優勝		次勝		第3位		第4位		第5位		第6位		優勝	
橋本		橋原		大在		近岡		山浦		井上		大木	
1	2	3	2	1	1	2	3	1	2	0	勝敗	3回戦	優勝
X	0	0	X	0	X	0	0	X	③	X	勝敗	3回戦	優勝
王	松	西	王	宮	横	笠	後	山	榆	不	勝敗	3回戦	優勝
井	尾	谷	井	原	山	原	上	本	本	勝敗	3回戦	優勝	大木
X	0	0	X	0	X	0	X	0	0	X	勝敗	2回戦	優勝
橋	八	後	宮	王	山	竹	松	横	重	西	勝敗	2回戦	優勝
本	代	原	井	上	下	尾	山	原	谷	原	勝敗	2回戦	優勝
0	X	0	X	0	X	X	0	0	X	0	X	勝敗	1回戦
宮	後	八	橋	竹	松	王	山西	笠	山	原	勝敗	1回戦	優勝
原	原	代	不	下	尾	井	上	谷	原	山	勝敗	1回戦	優勝
橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	橋	勝敗	1回戦	優勝
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	勝敗	1回戦	優勝
重	原	重	原	重	原	重	原	重	原	重	勝敗	1回戦	優勝
廣	原	廣	原	廣	原	廣	原	廣	原	廣	勝敗	1回戦	優勝
好	寛	寛	好	寛	寛	好	寛	好	寛	寛	勝敗	1回戦	優勝
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	勝敗	1回戦	優勝
新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	勝敗	1回戦	優勝
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
小	後	宮	橋	八	松	竹	山	王	笠	西	重	小	優勝
崎	嶺	原	本	伏	尾	下	上	井	原	谷	原	山	優勝
裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	裕	優勝
夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	優勝
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	参 加	優勝

(2)

Dクラス(2級~4級)成績表

2	2	3	1	2	計	勝敗	予選
④	0	0		X	X	勝	三回戦
不	坂	大	キ	キ	東	対	
戦	木	木	ケン	ケン	辺	高	
本	木	木	木	木	君	著	
X	0	0	X	X	④	0	勝
眞	木	木	木	木	木	石	二回戦
辺	村	本	木	木	木	石	
④	X	0	0	X	X	0	勝
不	英	森	木	立	大	坂	一回戦
戦	辺	村	石	木	木	木	
本	木	木	木	木	木	木	
7	6	5	4	3	2	1	敗
休	森	要	立	木	坂	大	参
本	木	邊	石	村	木	木	
連	光	保	立	木	坂	木	
不	生	幸	連	木	坂	木	
4	3	2	2	1	4級	君	

Eクラス(5級~10級)成績表 予選

1	2	3	2	1	計	勝敗	予選
④	X	0	0	X	X	勝	三回戦
不	園	大	内	府	川	対	
戦	田	森	田	川	川	高	
本	木	木	木	木	木	著	
X	④	0	0	X	X	勝	一回戦
府	不	内	伊	園	川	対	
川	戦	田	森	田	田	高	
X	0	0	X	④	X	勝	一回戦
大	伊	園	木	木	木	対	
森	森	田	川	田	田	高	
6	5	4	3	2	1	N.O.	参
伊	大	園	府	木	木	木	
森	森	田	川	木	木	木	
7	6	5	4	3	2	1	加
忠	晃	二	武	吉	吉	吉	名
7	6	5	4	3	2	1	者

< >

基老連研修会報告

第3回基老連研修会(10月~3月)終了に際し、下記2件を御報告します。
今後、会場の都合により3月は第3.第4土曜日の研修会が中止となりました。

記

1.昇格者の発表(平成5年3月6日)

級	氏名	昇格級	備考	級	氏名	昇格級	備考
4	奥山 和美	5		2	志村 豊	1	
1	高橋 實	5		11	倉 勘 弘	1	
2	西山 孝二	3		11	孫 井 達一	1	12月昇格
				3	紅丸 駿郎	2	
				6	三ヶ田 正雄	5	
			有効者 3名			級位者 5名	

2.第3回基老連研修会囲碁大会

開催日時 平成5年3月6日午前9時

会場 総合福祉センター

参加費 無料

競技方法 4クラス別に行い、各クラス共3位までの入賞者に賞状及び賞品を授与する。

競技成績 次の通り(次頁) (3)

第3回碁花連研修会開幕大会成績表

A 11人(3段以上)成績表

予選

優勝

決勝戦

三位決定戦

才三位
小林準優勝
片岡 奥山小林
林原
昇陟
43小林
片岡 奥山
健一郎
英美
4334

	1	2	3	1	2	2	2	2	0	3	1	1	計	勝敗		
○	⑧	X	○	○	○	○	X	○	X	X	○	X	X	●	三回戦	
平	不	長	河	城	大	小	奥	東	安	片	卯	猿	吉	鳥	者	
山	戻	川	後	所	林	村	山	麻	園	石	朱	保	吉	鳥	者	
X	X	O	O	X	O	O	X	④	X	O	X	O	X	●	二回戦	
大	戸	浦	平	長	安	佐	奥	不	奥	林	小	城	對	鳥	者	
所	原	谷	石	石	山	川	勝	勝	村	原	林	定	定	鳥	者	
X	O	X	O	X	X	O	⑤	O	X	O	O	X	X	●	一回戦	
奥	大	佐	安	小	戸	長	深	林	片	鶴	奥	奥	平	封	鳥	者
羽	原	勝	勝	原	原	谷	谷	勝	勝	鶴	石	石	石	封	鳥	者
山	岸	勝	勝	林	林	谷	勝	勝	勝	鶴	勝	勝	勝	鳥	者	
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	参 加
明	佑	大	小	安	長	戸	株	保	片	城	奥	渡	平	奥	氏	
石	藤	原	原	原	谷	谷	原	原	原	原	原	原	原	原	原	
敏	要	久	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	
春	吉	輝	晃	雄	忠	義	勇	能	善	善	武	漢	男	之	章	
45	3	4	3	5	5	5	3	3	3	3	4	3	4	3	3	級

B 11人(2段・初段)成績表

予選

優勝

決勝戦

三位決定戦

才三位
松井準優勝
山本 勝松井
高麗
芳
二
初高麗
芳
二
進差
高麗
芳
二
初

	2	3	2	2	0	1	2	3	2	1	2	2	2	1	1	3	0	計	勝敗			
○	0	0	0	0	X	0	X	⑧	0	X	X	X	X	0	0	X	X	●	三回戦			
帝	福	吉	石	西	高	山	平	不	福	高	橋	片	松	長	二	鷗	鳴	島	桓			
川	垣	山	唐	井	木	本	戻	戻	戻	木	井	崎	見	湯	田	津	松	山	勝			
0	0	⑧	X	X	X	0	X	X	0	0	0	0	0	X	X	0	X	●	二回戦			
福	西	不	松	嶋	吉	平	大	高	片	石	橋	山	長	留	兩	橋	植	鷗	二			
西	院	井	井	田	開	川	木	木	木	木	場	木	崎	井	留	垣	松	本	勝			
X	0	X	0	X	X	0	0	0	X	④	X	0	0	X	X	0	0	X	●			
新	島	松	福	西	植	橋	高	留	木	二	島	橋	植	長	片	吉	市	石	山			
柳	津	井	庄	山	松	木	木	木	木	木	見	井	場	垣	崎	山	聞	川	木			
23	22	21	20	19	18	17	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.
鳴	松	島	西	福	橋	植	高	六	六	兩	泡	二	縞	橋	片	長	市	吉	山	石	氏	参 加
田	井	津	山	山	山	延	本	松	松	木	宿	井	辰	雄	義	良	政	吉	隆	孝	名	者
1	2	初	2	初	2	初	2	初	2	初	2	初	2	初	2	初	2	初	2	初	2	級

(4)

差 NO.16 横須賀市立小学校
1-2年 初審(左)

C ハラタ (1級~4級) 成績表

名選

勝数

		C ハラタ (1級~4級) 成績表										名選		
		勝敗戦										勝数		
		勝敗戦										回戦		
3		1	0	2	2	1	0	1	1	1	3	2	2	2
④		X	X	0	0	X	X	X	X	0	0	X	X	0
古野 森		金	浦	大	石	荷	小	深	鍛	深	洋	井	対局者	三回戦
那佐 谷口		金	浦	木	木	不	室	原	升	深	室	井	対局者	二回戦
0		0	X	0	X	X	X	0	0	0	X	0	X	二回戦
佐 江		浦	金	石	石	大	那	古	浦	深	小	井	対局者	二回戦
0		X	X	0	X	0	0	X	0	X	0	X	0	一回戦
那 波		浦	金	浦	木	森	志	小	石	浦	金	井	対局者	一回戦
川 河		浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	参 加
21		19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
小 川 河		石	小	石	石	大	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦
川 河		浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦
河 川		浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦	浦
4		1	1	1	1	2	1	1	3	4	2	1	3	2
														4級

D ハラタ (5級~10級) 成績表

名選

勝数

		D ハラタ (5級~10級) 成績表										名選			
		勝敗戦										勝数			
		勝敗戦										回戦			
2		2	2	1	0	3	2	1	0	2	1	2	3	1	
0		0	0	0	X	X	0	X	X	X	0	X	X	三回戦	
伊 網		飯	片	福	不	高	文	武	大	福	三	田	伊 網	三回戦	
野 田		網	片	福	不	高	文	武	大	福	4	田	伊 網	三回戦	
0		X	④	X	X	④	0	0	X	X	0	0	0	二回戦	
福		三	不	田	文	不	片	伊	網	木	飯	大	福	二回戦	
田		田	不	田	文	不	片	伊	網	木	飯	大	福	二回戦	
X		0	X	0	0	X	X	0	X	0	0	X	X	二回戦	
武		文	大	伊	高	福	網	木	片	伊	田	3	4	回戦	
文		屋	福	伊	高	福	網	木	片	伊	田	4	田	伊 網	回戦
14		13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
文		武	伊	大	福	高	木	網	伊	片	福	3	4	参 加	
屋		屋	福	伊	高	福	高	木	伊	片	福	4	田	伊 網	参 加
14		13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
文		武	伊	大	福	高	木	網	伊	片	福	3	4	参 加	
屋		屋	福	伊	高	福	高	木	伊	片	福	4	田	伊 網	参 加
14		13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
(5)														参 加	

暮打ちにボケなし

——暮打ちがボケたら他の病気を探せ——

浜松医療センター
副院長

金子 満雄

「心から喜を楽しむ人はボケるはずがない」といふのは永年の経験による私の信念である。この7年余の間に私たちの研究グループは約七千人にのぼる高齢者の脳機能の調査をしてきたが、そのデータを打ち込んだコンピュータは実際に多くのことを私達に教えてくれた。「どんなタイプの人人がボケやすいのか」「ボケに縁の深い職業は?」例えば学校の先生はほんとにボケやすいのかなど。また、「ボケの始まりの微候はどんなものか?」そしてそれはどう進むのか?「どんな趣味がボケ予防に役立ち、治療には何が役立つか」等など。

ここで脳の善し悪しを測るモノサシについて寸触れておきたい。それは私たちが一番苦労したところでもあるからだ。

まず、人の大脳の後半部には外界から諸々の情報がインプットされる。左脳には言葉や計算の情報、右脳には音楽、絵画、囲碁などのゲームの情報が、それらはすべて大脳の前端にある前頭前野に送り込まれ、ここで、その時点における外界の状況分析、判断、次いで推理、発想、決断などがなされるのである。つまり、この前頭前野こそ脳の中での最高司令部なのだ。

暮の対局で相手の意図を先に見破り、相互の形勢を判断し、適切な対応を選択することなどもすべてこの前頭前野のなせるわざである。この最高司令部の働き具合を測ることが出来れば、脳全体の総評価も容易にできる。しかし、脳後半部の能力を計る知能テストと違つて、これは非常に難しい。その検査法は世界中のどこを探しても無かつたことが私たちのヤル気をイタク刺激したのであつた。もう、二十年も前だつたろうか。私たちは私たちの乏しい前頭前野を絞りに絞つて、幾つもの検査法を生み出した。今、それが大いに役立ち始めたのである。

この検査法はどれも鋭敏なものなので、これまでには考えられなかつた微妙な変化を的確に指摘する。例えば、「おもひろいテスト」を朝、医学部の学生にやらせてみたことがあるが、前夜の徹夜マージャンで寝不足の学生を簡単に発見した。ある日、そのK先生から暮仲間の一人である私は電話があった。珍しく神妙な声でTさんがこのところおかしいという。「好敵手でいつも打ち分けくらいだったのに、このところのTさんは連戦連敗なんですよ」と。初めは、K先生が最近、腕を上げたのを自慢しているのかなど気楽に聞いていたが、聞くほどに、これは容易ならざることだぞ、と身が引き締まってきた。定石の選び方が変わつて、成長と共に最も遅れて発達くるのであるが、一方でこの神経細胞は、わずかの障害であ

にはこの前頭前野の機能低下が常に起こっていることを私たちがつきとめ、証明出来たのも実にこのモノサシのお陰であった。

そして、従来の方法では診断出来なかつた軽い痴呆症でも簡単に診断が出来るようになった訳である。

私たちは一般的老人クラブに出席した一千人の人達で調べてみた。その中の約13%の人に軽いものも含めての痴呆が発見された。一方、専門の医たちでも調べてみたが、その中の5%の人に痴呆があつた。しかし、驚くなかれ、囲碁クラブの人たちも含めての痴呆が発見された。

一方、寿大学の五十人にはただの一人もいなかつたのである。私はこの種の調査をいつか日本棋院主催で全国的にやってみたいものだと考えている。

さて、この辺でボケの症状が起つた暮打ちの話をしよう。

五十八歳になる自営業のTさんは、若い頃からアマ五段でならした強豪であった。自分の商売より囲碁にのめり込んでいて、暇さえあれば碁を打ちに出掛けていた。近所の内科医のK先生もての碁敵の一人だつた。同じ段同士の好敵手だつたが、この場合Tさんにとつて相手が医者だつことは幸運であった。

ある日、そのK先生から暮仲間の一人である私は電話があった。珍しく神妙な声でTさんがこのところおかしいという。「好敵手でいつも打ち分けくらいだったのに、このところのTさんは連戦連敗なんですよ」と。初めは、K先生が最近、腕を上げたのを自慢しているのかなど気楽に聞いていたが、聞くほどに、これは容易ならざることだぞ、と身が引き締まってきた。定石の選び方が変わつて、成長と共に最も遅れて発達くるのであるが、一方でこの神経細胞は、わずかの障害であ

前より

る。以前は無かつたことだが、今はいつも同じ定期で応する傾向があるし、石がもつれてくると、決まって見落としが出でてくるのは脳のどこかが動かなくなっているのでは、とK先生は本当に心配そうである。

私の緊張は以前診た患者さんを思い出してのことであつた。その患者さんというのは右の前頭葉に腫瘍が出来ていて、そのため、小ゲイマガカリから打つて行くと決まってツケノビ定石で応じるのだった。毎回、その後の分かれを想定して、都合の良い方の定石を選ぶのが基の面白さであるが、そのような臨機応変の応用、身が出来ないのが前頭前野の障害の特徴で、當同症とも呼ばれる。私はただちにTさんを入院させると脳の検査を行つた。一時間もしないうちに、その異常部位が判明した。案の定、前頭前野の機能テストで中程度の低下が見られ、同時に右半球の軽い機能低下を伴っていた。これは右脳を養う血管に異常が起つた可能性が大きい。

詳しく調べてみると、結局、Tさんの右側の頭動脈が動脈硬化で狭くなつたために右脳に流れる血流量が減り、わずかの機能低下を起こしてきているらしい。その程度では手足の麻痺を起こすまでは至らないが、基という高度の脳機能をとするゲームではその差が鋭敏に現れたものらしい。私は、「これは基の神様に感謝しなければいけないな」とその時つくづと思つたものである。この時期なら脳もまだ傷んではないので手術も簡単である。顔の耳の前方にある皮下の動脈を剥離し、頭蓋骨を開けた小さな穴を通して脳の表面の動脈との間にバイパスを作つてやつた。助け船の血管

を頭の外から脳の中へ持ち込んでやる訳である。直径1mm弱の動脈同士を約14~15針で縫い合わせる手術は至極手慣れたものだ。

手当てが早かつたのでTさんはすぐに回復した。数日の中に前頭前野の機能はどんどん良くなつてきた。3~4回の傷など1週間もすればすぐ治る。

幕の方も回復が早かつた。

ひと月も経つ頃、「また、ちょいちょい負けるようになりますよ」とK先生は頭をかきかきやつて来たのであつた。

これまでに基打ちボケ症状の出た人をTさんを含めて三人診た。私のところで診た約二千五百人のボケの患者さんの中では希少価値である。結局、その三人とも普通の老人ボケ(アルツハイマー型とも言う)ではなかつた。Tさん以外の二人も脳の血管に問題が見つかつたのだった。

ただし、若い頃、基を打つたことがあっても、その後ずっと止めていた人はボケはいくらも見つかつた。だが、あるレベルまで達した人はまず生涯、基を止めないのが普通のようで、それが基の魅力をよく物語ついている。

「基打ちにボケなし」という私の信念は当分変わらうにない。

第五章

ボケ防止に関する金子清雄先生の御指導を仰げど絶縁

看護の件に関する御面識もない先生に不躊躇にも去る2月20日付を以て下記の件について御指導を賜り承りました。御年高を差し上げましたので、御多忙中の御算にも抱うかず、2月22日御就寝のサインにて御丁寧な御返書を頂きました。感激の極みにて、兹に改めて心から御礼を申上ります。

記

1. 囲碁を小学校の正斜として採用に囲む件
2. ソロバンを小学校の算数斜目として採用に囲む件
3. 幼稚園において、囲碁とソロバンを遊具として採用に囲む件

尚、前掲の「基打ちにボケなし」は其の節御送付頂いた資料で「が、御返書の内容に關しては、改めて御報告申上いたします。

(篠崎)

(7)



4 八生生声取第047083号

平成 5 年 3 月 2 日

八王子の墓を楽しむ老人連合

会長 熊崎正一殿

八王子市長 波多野 重雄



ボケ防止のための啓発運動推進に
御協力方陳情の件について（回答）

市政につきましては、平素から御理解と御協力をいただき厚くお礼
申しあげます。

さて、平成5年2月2日付で御要望のありました標記の件について
別紙とのおり回答します。

(別紙添付)

ボケ防止のための啓発運動推進に御協力方陳情の件

要旨

市の施設や自治会館に囲碁セットが設置されていない所が沢山ある
ので、囲碁セットを市の施設及び町会や団地の自治会館に設置して頂
きたい。

回答

①市民センター・地区会館について

この施設には現在囲碁セットを配置しております。なお、これから
は折碁盤にしていきます。

②町会・自治会館について

この施設への要望は町会・自治会の連合会を通じて行ってください。

③市の事務所について

今年4月以降に購入予定です。購入時期、数量は各事務所毎に利用
状況、要望等を考慮して決定したいと考えます。

④福祉施設について

囲碁セットについては、現在老人福祉センター・総合福祉センター
共に設置しており、毎週水・木・金曜日の午前9時～午後4時まで利
用できます。

(8)

地区別天狗決定(前期)

地区別	段	氏名	地区別	段	氏名
城川	4	小林晃	田井	2	福島達雄
元八王子	3	清水勇	由木	1	松田実
中野	6	木島洋祐	北野	6	伊藤宗一
大和田	4	松田礼治	初	川村泰二	

甲体対抗戦参加者(2回戦 3月21日)

候補段	氏名	候補段	氏名	候補段	氏名
城川		大和田		北野	
6 6	川口 星	6 7	田村 和義	6 4	山本 徳美
5 5	保屋野 正徳	5 4	佐藤 宗次	5 4	佐木 美義
4 4	小林 晃	4 4	達藤 成章	4 3	城定 武
3 2	橋場 政明	3 3	戸野 敏亮	3 2	水澤 豊夫
2 2	長崎徹	2 2	根本 実紀	2 2	今岡 五郎
初 初	福嶽 修	初 初	宮脇 末名	初 初	植松 四郎
元八王子		由井		辰房	
6 7	河井 幸尚	6 5	奥山 和英	6 7	小林 勝
5 5	庄原 正徳	5 3	坂 肇三	5 3	石井 正之
4 4	岡村 吉人	4 3	片桐 健一郎	4 3	高橋 良太郎
3 3	清水 勇	3 2	福島 達雄	3 2	松井 曜
2 2	長島 広	2 初	古川 中	2 2	波谷 昭男
初 初	西谷 草	初 初	河部 博	初 初	菅藤 登
中野		由木			
6 6	木島 洋祐	6 5	朝日 昇		
5 5	佐藤 寛人	5 5	松田 実		
4 4	中田 勤	4 3	越後 伸幸		
3 3	平年 和夫	3 2	王社 新		
2 2	石山 徳義	2 初	山際 嶽		
初 初	布施 謙	初 初	荒木 八郎		

対戦4-1は次の通り

城川	大和田
由井	元八王子
中野	由木
北野	長房

注: 左側は主催チーム

ボケ防止のための塔路用基由井大会の御案内

開催日時 平成5年4月11日午前9時
 会場 由井市民センター
 主催 由井寿園基同好会(会長奥山和英、小此企町807-1、電26-3618)
 参加費 600円(弁当代金含む)
 申込締切 開催日の1週間前(必着)とす。

ボケ防止のための塔路用基由木大会の御案内

開催日時 平成5年4月25日午前9時
 会場 由木中央市民センター
 主催 由木寿園基同好会(会長吉成進、南KMR3-14-4-102、電76-6192)
 参加費 600円(弁当代金含む)
 申込締切 開催日の1週間前(必着)とす。 (9)

用体対抗戦成績表(1回戦 2月21日)

元八王子4-1(勝負0) 猿川4-1(勝負1)

名 別	猿川	6	5	4	3	2	初	勝計					
		城	6	長谷川	5	藤田	4	K河原	3	平	2	中島初	
6	小平	6	X	0	X								1
5	佐藤	5	X	0	X								1
4	高橋	4	X	X	0								1
3	藤原	3				X	X		X				0
2	西山	2				X	0		0				2
初	橋本	初				0	X		0				2
	勝計		3	1	2	2	2	1	1				7

大和田4-1(勝負1) 中野4-1(勝負0)

名 別	中野	6	5	4	3	2	初	勝計							
		木場	6	佐藤	5	中田	4	石山	2	大木	木	2	畠	初	
6	萬田	6	0	0	X										2
5	星谷	5	X	0	0										2
4	松田	4	0	X	X										1
3	安藤	3						0	X		0				2
2	雲林院	2						X	X		0				1
初	山崎	初						X	0		0				2
	勝計		1	1	2	2	2	2	0						10

由木4-1(勝負1) 北野4-1(勝負0)

名 別	北野	6	5	4	3	2	初	勝計						
		芝田	5	山本	4	星谷	3	金田	2	畠	横山	田	初	
6	神保	5	X	X	0									1
5	吉成	5	X	0	0									2
4	鍼	3	0	0	0									3
3	芦坂	2						0	X		0			2
2	佐久木	初						0	0		X			2
初	塙	初						0	0		X			2
	勝計		2	1	0	0	1		2					12

長房4-1(勝負1) 由井4-1(勝負0)

名 別	由井	6	5	4	3	2	初	勝計							
		長房	田	萬野	久	奥山	4	堀	3	福田	2	鈴木	初	深井	
6	小西	6	X	0	X										1
5	佐藤	5	0	0	X										2
4	平山	4	X	0	0										2
3	芦坂	3						X	0		X				1
2	竹山	2						X	X		0				1
初	吉賀	初						0	0		0				3
	勝計		2	0	2	2	1	1	1						10

(10)